



# せたがや区議会だより

No.242

平成25年(2013年)11月16日  
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27  
TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030  
http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html

## 24年度決算を認定、基本構想などを可決 第3回例会



スポーツ祭東京2013 (第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)



### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会では、平成24年度決算5件を認定しました。また、区長からこのほかに21件、議員から1件の案件が提出され、全て可決しました。

#### ●24年度各会計決算の認定 5件

○一般会計  
賛成多数 賛成 賛成  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○国民健康保険事業会計

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○後期高齢者医療会計

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○介護保険事業会計

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○中学校給食費会計(全員賛成)

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ●25年度各会計補正予算 5件

○一般会計(第一次)  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○国民健康保険事業会計(第一次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○後期高齢者医療会計(第一次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○介護保険事業会計(第一次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○中学校給食費会計(第一次)

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ●基本構想の策定

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ●条例の改正 12件

○区長等の退職手当条例(全員賛成)  
区長、副区長、教育長の退職手当の支給率の改定。  
○使用料等の督促・延滞金条例(全員賛成)  
地方税法の改正に伴う使用料などに係る延滞金の割合の特例に関する規定の改定。  
○区税条例(全員賛成)  
地方税法などの改正に伴う公的年金などに係る特別徴収制度の見直しなど。  
○清掃・リサイクル条例(全員賛成)  
地方税法の改正に伴う廃棄物処理手数料及び動物死体処理手数料に係る延滞金の割合の特例に関する規定の改定。  
○区営住宅管理条例(全員賛成)  
生活保護基準などの改正に伴う区営住宅の利用者の要件に関する経過措置の規定の追加。  
○街づくり条例  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○区長等の退職手当条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○使用料等の督促・延滞金条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○区税条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○清掃・リサイクル条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○区営住宅管理条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○街づくり条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○公園条例(全員賛成)

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○自転車条例(全員賛成)

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○新設

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○生活保護基準などの改正に伴う

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○生活保護基準などの改正に伴う

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○レンタサイクルポート条例

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○北沢公衆便所の廃止

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○学校設置条例(全員賛成)

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○工事請負契約の締結 1件

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○環状七号線横断橋整備工事(上部工)

賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数  
賛成多数 賛成多数 賛成多数

#### ○会派名等

自民 自由民主党世田谷区議団  
公明 公明党世田谷区議団  
生新 生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団  
共産 日本共産党世田谷区議団  
民主 世田谷民主党  
み行 緑の党  
新風 新風21  
減税 減税世田谷  
虹 レインボー世田谷  
世田谷 世田谷無所属  
あらた 未来あらた世田谷  
みんな みんなの党  
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。



# 代 表 質 問

9月17日及び18日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

## 自由民主党世田谷区議団・新風 宍戸 のりお議員

### 決断しない区長の姿勢

**質問** 保坂区長就任以降2年半の間で見えてきたものは、山積する課題に対し主体的に決断しない区長の姿勢だ。区政運営のリーダーとしての役割をどう考えるのか。  
**区長** 区民の生命、健康、安全を守るために全力を注ぐことである。

### 区長の将来展望のない基本構想

**質問** 区が先進自治体でありえたのはみずから明確な目標を定めて進んできたからだ。審議会の答申内容のまま基本構想案とした区長には区の将来展望がないのか。  
**区長** 区のビジョンとは首長が一方的に示すものではないと考える。

### 区施設の老朽化対策

**質問** 現在の区施設を同規模のまま維持し続けられれば、施設の老朽化により維持経費は今後30年で約2倍にも膨れ上がる。区はどのような考えで施設の整備に臨むのか。  
**区長** 複合化により施設総量の抑制を図るなど、効率的に整備する。

### 本庁舎改築への区長の意思表明

**質問** 老朽化が進む本庁舎の整備は区民の安全安心を支える重要な災害対策だ。我が会派から要求を受けて専管部署を設置した今、区長は全面改築の意思を明確に示せ。  
**区長** 25年度中に本庁舎の整備方針案をまとめていく予定である。

### 新たな都市整備方針のあり方

**質問** 新たな都市整備方針は地域特性を十分に踏まえて策定すべきだ。京王線連立事業や外環道などの整備とそれに伴う周辺まちづくりを方針に明確に位置づけよ。  
**都市整備部長** 今後作成する素案の中でより具体的に位置づける。

### 道路整備の着実な推進

**質問** 都市計画のなめは道路整備であり、区民の関心も高い。策定中のせたがや道づくりプランで優先整備路線を明確に示し、道路整備を着実に進めよ。

## 公明党世田谷区議団 佐藤 弘人議員

### 実践的な防災訓練の実施

**質問** 災害対策は、区民を守る最大のことに最優先すべき業務だ。首都直下地震に備え、災害時に役立つ実践的な防災訓練に全庁を挙げて緊張感を持って取り組め。  
**危機管理室長** 実動訓練などで全庁的な災害対応力の底上げを図る。

### 町会や自治会への加入促進

**質問** 町会や自治会は地域を支える重要な存在だが、高齢化や加入率の低下などの課題を抱えている。加入促進を図る条例を早期に制定し、後継者の育成などににつなげよ。  
**副区長** 多くの意見を得て、条例案の提案に向けて準備する。

### 迷惑空き家対策の強化

**質問** 迷惑空き家が増加している。対策を立法化する国の動きもあるが、区民の安全安心を守るため、まずは区として迷惑空き家への対策条例を制定し、取り組みを急げ。  
**副区長** 国の動向を注視し、条例化を含めた対策を早急に検討する。

### 多様な働き方に応じた保育の提供

**質問** フルタイム勤務の保護者を想定した保育施設をふやすだけでは待機児問題は解決できない。保護者の就労形態の多様化に対応した保育サービスを充実せよ。  
**区長** 新設の認可保育園には、短時間の受入枠を拡大していく。

### 入札に係る不適格事業者への対策

**質問** 入札参加のために営業実態が疑わしい名ばかりの支店を区内に設ける新規参入事業者が少なくない。既存事業者の実態把握にとどまらず、抜本的な対策を講じよ。  
**財務部長** 新規参入事業者は入札参加の可否を厳格に判断していく。

### 公教育に求められる役割

**質問** 子どもを取り巻く環境が複雑化する今、公教育に求められる役割を捉え直すべきだ。基礎学力や考える力の向上、社会規範を守る意識の醸成に直ちに取り組み。  
**教育次長** 社会状況を見きわめ教育の原点を見据えた施策を進める。

### 区立図書館機能の拡充

**質問** 区は基本計画素案で新たな図書館機能の拡充を掲げている。民間活用や先進例も参考に、地域の情報拠点として多様なニーズに対応するサービスを提供せよ。  
**教育長** 新たな図書館ビジョンの中で将来像を明らかにしたい。

### 本庁舎整備検討のさらなる推進

**質問** 専管部署を設け、本庁舎整備の検討に着手したことを評価する。区は新庁舎が備えるべき機能や性能などをどう考えているのか。  
**副区長** 庁舎計画推進委員会での意見を踏まえ、検討していく。

### 雨水貯留施設の設置拡大

**質問** 頻発するゲリラ豪雨への対策が急務だ。貯留だけではなく雨水を利活用できる機能を備えた製品の導入を図るなど、雨水貯留施設の設置拡大に積極的に取り組め。  
**土木事業部長** 雨水の利活用などを行動計画見直しの重点とする。

### 区立幼稚園の老朽化への対策

**質問** 区は全区立幼稚園を認定子ども園に用途転換する計画を示した。移行に際しては、施設の老朽化を踏まえ、耐震性や耐久性の確保への対策をしっかりと講じよ。  
**教育環境部長** 新たな設置基準に合致した施設整備を検討する。

### がん対策推進条例の制定

**質問** がんに係る情報提供や支援を民間との連携で効果的に実施するための法整備が必要だ。がん対策の総合的かつ計画的な推進に資するがん対策推進条例を制定せよ。  
**副区長** がん対策検討委員会や議会の意見を踏まえ、検討を進める。

### オリンピックを好機とした教育

**質問** 2020年東京オリンピックの開催は、子どもが夢を持ち、その実現のためにどう行動すべきかを考える絶好の契機となる。子どもの可能性を育む教育に力を入れよ。  
**教育長** 夢を持ち、チャレンジで

## 生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団 桜井 純子議員

### 生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団

きる子どもを育てていきたい。  
**質問** 子どもの成長や若者の自立に児童館が果たす役割は大きい。社会情勢の変化や多様なニーズを踏まえ、中高生の活動の場としての児童館の機能を一層充実せよ。  
**子ども部長** 児童館全体の充実に向けた検討の中で進める。

### 在宅子育て支援の拡充

**質問** 在宅子育て支援を拡充すべきだ。京王線や小田急線の連立事業に合わせ、おでかけひろばや一時預かりの機能を備えた小規模型子育てステーションを整備せよ。  
**子ども部長** 必要性や立地などを勘案しながら実施に向け検討する。

### 新たな自治体間連携の取り組み

**質問** 介護施設不足への対策が不可欠だ。南伊豆町内の所有地に特養ホームを整備予定の杉並区に倣い、新たな自治体間連携の視点で区も区外への施設整備を検討せよ。  
**区長** 杉並区の試みを注視し、区でできることは進めていきたい。

### 実効性ある公契約条例の制定

**質問** 地域産業の活性化と雇用の安定につながる施策が必要だ。条例の適用範囲を可能な限り広く設定した労働者の賃金と労働環境を保障する公契約条例を制定せよ。  
**財務部長** 入札制度改革を進める中で条例化について検討を重ねる。

### 生活困窮者の支援体制の充実

**質問** 区は国の生活困窮者支援モデル事業を実施予定だ。生活困窮者の複合的な問題に的確に対応するため、生活支援や就労支援の団体と連携した支援体制をつくれ。  
**地域福祉部長** 地域の支援機関と調整を図り、連携を模索する。

### 婚外子差別違憲判決への区の見解

**質問** 婚外子の遺産相続に係る民法規定への最高裁の違憲判決を機に、子どもの権利救済などの観点から民法改正が進むことを期待す

## 日本共産党世田谷区議団 中里 光夫議員

### 日本共産党世田谷区議団

る。当判決への区の見解を示せ。  
**区長** 時代の流れや国連の勧告に照らしても正しい判断だと考える。

### 多様性を認め合う教育の推進

**質問** 次期教育ビジョン素案で掲げた「たくましく生き抜く力」は、過度な競争を連想させる。「多様性を認め合う教育」に再考すべきだが、区の見解を示せ。  
**教育次長** パブリックコメントなどを踏まえ、計画策定を進める。

### エネルギー自給率向上の取り組み

**質問** 災害対策の観点からのエネルギー政策が必要だ。事業者などと連携し、エネルギーの自給率向上への取り組みを計画的に進めよ。  
**環境対策室長** 事業者などの取り組みが進むよう、施策を講じる。

### 平和の発信拠点の整備

**質問** 平和事業推進に向け、世田谷公園にせたがや平和資料館を設けることを評価する。これを機に、当公園を平和の発信拠点とせよ。  
**副区長** 立地を生かし、公園を中心に平和のとうさを伝えていく。

### 原発事故処理は国の責任

**質問** 大量の汚染水流出など、福島第一原発事故は重大事態だ。「収束宣言」を撤回し、東電任せではなく国の責任で対策に当たるべきだ。区長の見解を示せ。  
**区長** 関係者が完全解決に向け、総力を挙げることを求めたい。

### 国の社会保障連続改善に対して

**質問** 生活保護基準引き下げに続き、「プログラム法案」で医療、介護、年金の福祉切り捨てが計画されている。区民生活への影響を踏まえ、見直しを求めよ。  
**区長** 区民の目線に沿った行政運営を念頭に、国の動向を注視する。

## 行政改革の考え方を転換せよ

### 行政改革の考え方を転換せよ

**質問** 区長は前区政が進めた区民サービスの削減や負担増を目的とする行政改革を継続している。新たな基本計画では、行政改革は区民サービス向上を目的とせよ。  
**副区長** 内部経費の精査や民間活用などの推進などが重要だと考える。

### 今後の公共施設整備について

**質問** 区は改修建築費がかさむと公共施設総量抑制を示した。世田谷区の一入当たりの施設量は23区最小だ。区民にとって必要な施設、不足している施設は整備せよ。  
**政策経営部長** 必要な施設機能の整備を公共施設整備方針で示す。

### 保育の質を守り、待機児解消を

**質問** 企業の人件費削減で保育の質が心配だ。事業者選定、運営の基準をつくるなど保育の質を守る手立てを講じ、保育施設整備率46%を掲げた整備目標達成を目指せ。  
**副区長** 質の確保を第一に置きながら、目標達成を目指していく。

### 特養老人ホームを整備せよ

**質問** 特養ホーム整備計画が遅れており、待機者の実態は深刻だ。100人規模の特養ホームの整備計画をつくるなど、整備に全力を注げ。  
**地域福祉部長** 法人に整備費補助を行うなど整備誘導に努めている。

### 実効性の高い公契約条例の制定

**質問** 労働環境の改善や公共事業の質の向上に向け、実効性の高い公契約条例を制定すべきだ。労働報酬下限額をどう定めるのか、他自治体の条例も参考に検討せよ。  
**財務部長** 条例を制定する場合は、慎重に検討すべきものと考えている。

### 町会加入促進条例は、やり直せ

**質問** 区は町会や自治会への加入促進などを目的とする条例素案を示したが、公表が唐突であり、議論も不十分だ。区民が広く議論できる場を設け、やり直せ。  
**副区長** パブリックコメントなどで幅広く意見を募る予定である。



# 代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を  
ホームページで録画配信しています。  
世田谷区議会 議会中継 で検索！

**外郭団体の経営責任と統廃合**  
**質問** 外郭団体改革として、まずは新たな施設経営で大幅赤字を出しているサービス公社の素人経営者を代え、事業の直営化や民間委託により外郭団体を整理統合せよ。  
**政策経営部長** 事業再編などを視野に抜本的な見直しを行っていく。町会自治会加入者減対策は見直し  
**質問** 町会自治会加入率減少の対策は、条例で縛るよりも組織改善支援を先にすべきだ。条例は多様な市民活動全般の参加促進とせよ。  
**生活文化部長** 地域社会全体の一層の活性化を目指したものである。  
**梅ヶ丘の運営法人は専門別にせよ**  
**質問** 梅ヶ丘拠点の障害者支援はこれまで通り区が行うべきだ。民間委託するのであれば、専門的なサービスを行う為にも、高齢者施設とは事業者をわけて運営せよ。  
**梅ヶ丘整備部長** 1事業者に限らずグループの参入も想定している。  
**0歳児保育の拡充と保育室支援**  
**質問** 待機児解消には待機率の高い0歳児保育の拡充が必須であり、貴重な担い手である保育室への支援を強化すべきだ。国の新制度へ移行後の保育室の位置づけを示せ。  
**子ども部長** 国の支援の対象施設となるよう移行を支援していく。  
**区立幼稚園こども園転換の要諦**  
**質問** 我々が保育待機児解消策として提案してきた区立幼稚園の認定こども園用途転換は評価する。0歳1歳児受入れ枠の確保と要配慮児童受入れの制度化を確保せよ。  
**教育長** 区立幼稚園でのノウハウやきめ細かな対応などを継続する。  
**教育ビジョンに国際的な視点を**  
**質問** 次期教育ビジョン素案には「地域」ばかりが目立ち「国際」の要素に欠ける。国の取組みに倣いグローバルの要素を明記せよ。  
**教育長** 子どもが世界で活躍できる資質などを育む教育を推進する。

世田谷民主党  
風間 ゆたか議員

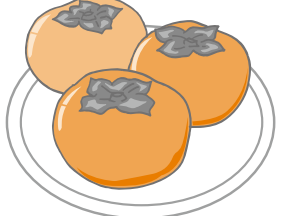
みんなの党・世田谷行革110番  
大庭 正明議員

**区が行ったアンケート結果の疑義**  
**質問** 世田谷ナンバー導入に向けた区のアンケートは、標本母数に異常な偏りがあり、統計学上、調査結果に信憑性はない。それでも区民の8割が賛成したと言いつつのか。  
**区長** アンケートは総合的な判断の1つの材料と考えている。  
**がやがや館の経営状況**  
**質問** サービス公社が指定管理者として運営する池尻の健康増進・交流施設は、開設から5カ月が経つが、利用者が少なく収支計画を大幅に下回る状態だ。実態を示せ。  
**地域福祉部長** 売り上げは計画の3分の1、赤字は約30万円である。  
**がやがや館の今後の見通し**  
**質問** 健康増進・交流施設の事業計画では、委託契約の3年目から黒字化する予定だが、現時点での膨大な赤字額を見るに達成は不可能だ。今後どう事業を進めるのか。  
**地域福祉部長** 改善策を提出させ、速やかな実施を指示している。  
**今後のサービス公社と区の関係**  
**質問** 健康増進・交流施設の巨額の赤字は、運営するサービス公社の大株主である区にとって大変な問題だ。23年度から無配当続きの公社との関係を今後どうするか。  
**地域福祉部長** 安定的に質の高いサービスを提供するよう指導する。  
**基本構想の拙速な議案提案**  
**質問** 区民意識調査で基本構想が策定中であることを「よく知っている」との回答は7.0%だ。この認知度で議会での議決を求めるといっていいか。  
**区長** 区民参加の過程を経てまとめたため、本議会に提案した。  
**区民不在の基本構想策定**  
**質問** 多くの区民が知らないままに基本構想の議決を急ぐのは疑問だ。区民参加を標榜する区長ならば、区民置き去りで事を進めるならば、区民置き去りで事を進めるならば、検証や区民の意見表明の場づくりをしっかりとり組みむ。

## 一 般 質 問

9月18日及び19日の本会議では、24名の議員が  
区政をめぐる諸課題について質問を行いました。  
その一部を要約してお伝えします。

本文中で使用している省略表記  
土木事業部長  
教育環境部長  
環境対策室長  
梅ヶ丘整備部長  
がやがや館  
環境総合対策室長  
梅ヶ丘拠点整備担当部長  
がやがや館  
（健康増進・交流施設）  
環境リノベーション事業  
環境配慮型住宅リノベーション  
支援モデル事業  
支所＝総合支所



**三井 みほこ議員（自民新）**  
**中高生世代の活動の場の拡充**  
**質問** 区は烏山地域で中高生世代活動支援モデル事業を実施中だ。地域の担い手となる若者を育成するため、児童館の開設時間を延長し、同事業を児童館で展開せよ。  
**答弁** モデル事業を踏まえ中高生世代への支援のあり方を検討する。  
**障害者の相談支援体制の充実**  
**質問** 5地域に開設した地域障害者相談支援センターは利用対象をその地域に住む区民に限っている。各センターで専門分野が異なるため地域を越えた利用を可能とせよ。  
**答弁** センターへの助言などを通して地域の相談体制の充実に努める。  
**地域包括ケアの体制整備**  
**質問** 区は障害者や子育てなどの相談に対し、地域で包括的に対応できる仕組みを築く方針だ。中核を担うあんしんすこやかセンターの体制整備にしっかりと取り組め。  
**答弁** モデル実施による評価検証を踏まえ、計画的に展開する。

**あべ 弘幸議員（自民新）**  
**児童生徒の学力向上への取り組み**  
**質問** 経済格差と教育格差の関係性が専門家の調査で明らかとなっている。無料の塾を運営している他自治体の例を踏まえ、区立校の全児童生徒の学力向上に取り組め。  
**答弁** 学習習得確認調査結果の有効活用などにより学力向上を図る。  
**区役所でのペーパーレス化の推進**  
**質問** 区役所では会議などで多量の紙資源が使われており、ペーパーレス化が急務だ。省資源だけではなく、業務の効率化にもつながるタブレット端末の活用を図れ。  
**答弁** 配付資料が多い会議などから端末活用に向けた検討を進める。  
**GPSによる資源持ち去り対策**  
**質問** 集積所から古紙などの資源を持ち去られる被害が一向に解消されていない。GPSによる追跡調査を行っている西東京市の例を参考に、区も同様の対策を講じよ。  
**答弁** 今後導入自治体などからの情報収集に努め、検討を重ねる。

**すえおか 雅之議員（みんな）**  
**国を愛する心の基本構想への明記**  
**質問** 基本構想案の教育に関する記述に「郷土を慈しむ心」が加筆されたが不十分だ。教育基本法の改正を踏まえ国を愛する心と国際平和を願う心を育む旨を明記せよ。  
**答弁** 教育の全体像は新たな教育ビジョンで明らかになると考える。  
**基本構想案の練り直し**  
**質問** 基本構想は基本計画などに多大な影響を与えるため、議員大衆が賛同するものでなければ今後の区政が混乱する。その見通しが無いならば構想案を練り直せ。  
**答弁** 幅広く意見を聞き、議会の賛同を得られるよう努めてきた。  
**老朽空き家対策への区長の決意**  
**質問** 区長は招集挨拶で空き家活用を進めると述べたが、区民の生命や財産を守るには、空き家活用の前に危険な老朽空き家対策こそ優先すべきだ。区長の決意を示せ。  
**答弁** 老朽空き家対策を行い、有効活用も表裏一体として取り組む。

**ひうち 優子議員（世田谷）**  
**豪雨対策の強化**  
**質問** 今夏の集中豪雨を踏まえ、浸水対策を強化すべきだ。分流水の下水道雨水管の整備促進を都に求めることはもとより、土のうステーションの設置等の対策も行え。  
**答弁** 身近な地域への土のうステーションの設置を検討している。  
**土曜授業に伴う通学路の安全確保**  
**質問** 通学路への車の進入規制がない土曜日における子どもの安全確保が急務だ。土曜日のスクールゾーン規制を都に再度求めるとともに、巡回などの対策を強化せよ。  
**答弁** 都に規制を求めるとともに、関係機関と一層の安全確保を図る。  
**電子図書館の開設**  
**質問** 電子図書館は図書館に行かずにパソコン上で24時間貸出や返却手続きができて大変便利だ。大手出版社の図書館への電子書籍の提供開始を機に電子図書館を開設せよ。  
**答弁** 利便性向上などの利点があり、仕組みづくりなどを注視する。

**福田 妙美議員（公 明）**  
**事業者選定における透明性の確保**  
**質問** プロポーザル方式で事業者を選定した際の通知内容が各課で異なっている。選定理由などの通知すべき内容を統一してガイドラインに明記し、透明性を確保せよ。  
**答弁** 統一した対応ができるよう、ガイドラインの改善を検討する。  
**音声コードドライバーの導入**  
**質問** 個人情報を読んでもらうことに抵抗感がある視覚障害者もいる。自身で把握できるよう個人情報を含む内容を音声コード化し、通知に印刷する仕組みを導入せよ。  
**答弁** 音声コードドライバーなどの新しい技術について研究する。  
**二子玉川駅周辺の駐輪場の確保**  
**質問** 二子玉川駅周辺では通勤通学者が利用する定期利用の駐輪場が足りず、公園への放置自転車が問題となっている。民間事業者への働きかけを含め、対応を急げ。  
**答弁** 民間駐輪場の整備を働きかけるなどの多様な手法で検討する。





平塚 敬二議員(公明)
中学生への租税教育の推進

納税は国民の義務であり、租税の意義や役割などを教える租税教育は大変重要だ。特に勤労や職業への興味関心が高まる中学生にこそ、租税教育を一層推進せよ。

答弁 中学校長会などを通じ租税教室のさらなる開催を働きかける。

街路灯のLED化の推進

区が管理する街路灯のLED化により、電気料金の大幅な削減効果が期待できる。特に効果が高い大型水銀灯のリース方式による一括でのLED化に取り組み。

答弁 計画的にLED化を進め、リース方式などの導入も検討する。

新公会計制度導入への取り組み

新公会計制度を導入するには資産額などを適切に把握するための固定資産台帳が必要だ。公有財産台帳に減価償却費などを反映し、固定資産台帳として整備せよ。

答弁 企業会計の手法を取り入れ、公有財産台帳の精度向上に努める。

和田 秀壽議員(自民新)
玉川支所改築の着実な推進

築40年以上経過し、老朽化した玉川支所の改築案が示された。集会施設などの機能の維持や仮庁舎の確保などの山積する課題を踏まえ、計画的に改築を進めよ。

答弁 関係部署と調整しながらスケジュールを精査していく。

家庭教育への支援の充実

いじめなどから子どもを守るために家庭教育が果たす役割は大きい。新たな教育ビジョン素案で掲げた「親の学び」への支援に区は積極的に取り組む。

答弁 家庭教育は全ての教育の出発点であり、積極的に支援する。

花火大会での天候急変時の対策

天候急変による花火大会の途中での中止が全国で相次いだ。30万人以上も来場するたまがわ花火大会では、混乱を防ぐため、天候急変時の安全対策を強化せよ。

答弁 危機管理マニュアルを毎年見直すなど安全な運営に努める。

村田 義則議員(共産)
環境リノベ事業の利用促進

環境リノベ事業の実績は、4月の開始からたったの8件だ。区民の要望を踏まえ、申請手続の簡素化や小規模工事への補助の増額により、利用を促進せよ。

答弁 さらなるPRの強化を図り、事業の拡大に一層取り組む。

玉川支所の拙速な改築の見直し

玉川支所は改修工事中であり、10年間は設備改修は必要ない。拙速な改築計画とならぬよう、新たな基本構想や地域行政のあり方を踏まえ、十分な検討を行え。

答弁 区民意見を聞き、改築の基本構想について検討していく。

深沢一丁目の国有地の有効活用

約1万㎡もある深沢一丁目の国家公務員宿舎跡地の有効活用に向けた取り組みを進めるべきだ。区内に不足する特養ホームの整備への活用を国に積極的に求めよ。

答弁 特養ホーム整備誘導を要望し、国が事業者を公募している。

高岡 じゅん子議員(生ネ社)
インクルーシブ教育の推進

区立幼稚園では配慮を要する子どもも同じ教室で学ぶインクルーシブ教育を進めてきた。認定こども園への用途転換後も区立園での教育を着実に継承せよ。

答弁 区立園のきめ細かな対応や支援ノウハウなどを生かしていく。

インクルーシブ教育の支援体制

区立校でインクルーシブ教育を推進するには、教員へのサポート体制が不可欠だ。専門家が区立校を巡回し、教員に指導法などをアドバイスする体制を強化せよ。

答弁 教員の専門性を高めるとともに関係機関との連携を充実する。

区民参加による平和施策の推進

世田谷公園に新設する平和施設には多くの区民が訪れるような工夫が必要だ。戦争資料の保存展示にとどまらず、平和に関連した参加型の取り組みを実施せよ。

答弁 屋外イベントや映画上映などの事業の可能性を検討している。

植田 靖子議員(生ネ社)
国分寺産線の豊かな自然の保全

開発が進む二子玉川周辺では、国分寺産線の緑が大幅に失われる懸念がある。建築などを制限する特別緑地保全地区の指定などにより、豊かな自然環境を守れ。

答弁 土地所有者の意向を確認しながら多様な取り組みを進める。

国分寺産線での樹木の保全

建築時の緑化計画における確保すべき樹木本数の基準などだけでは樹木の保全が不十分だ。国分寺産線保全整備地区では伐採を防ぐための新たな対策を講じよ。

答弁 既存制度で保全を図るとともに、新たな施策も研究する。

保護者への自転車安全運転の啓発

自転車利用頻度が高い子育て世代への安全運転の啓発は重要だ。区が出向くほか、保育園や幼稚園の職員に研修を行い、各園による交通安全講習会を実施せよ。

答弁 関係部署が連携しながら参加しやすい講習会開催を検討する。

小泉 たま子議員(自民新)
地域社会での生活に必要なルール

住民同士、顔の見える関係が希薄になる今、地域社会で生活する上でのルールづくりが必要だ。地域行政制度の見直しの中でルールづくりの仕組みを検討せよ。

答弁 見直しでは区民が主体的に地域社会にかかわる点を重視する。

お元気高齢者施策の一層の推進

お元気高齢者の担当部署が福祉領域から区民生活領域に移ることが実現すれば、地域振興課を中心に支所の役割が一層重要となる。支所長の決意を示せ。

答弁 お元気高齢者の活動を可能な限りバックアップしていきたい。

被災地支援のあり方

区が東日本大震災の被災地支援として行う関係自治体への一律の寄附はあまりにも形式的だ。真に必要な、復旧復興の役に立つ積極的な支援のあり方を検討せよ。

答弁 さらなる効果的な活用方法を被災地支援本部で検討する。

上山 なおのり議員(自民新)
木造住宅密集地域への不燃化対策

区は都の不燃化特区制度を活用し、太子堂・三宿地区など3地区の木造住宅密集地域の解消を図る予定であり、都に準備申請を行った。現在の進捗状況を示せ。

答弁 9月下旬に本申請を行い26年3月頃に結果が出る予定である。

適正なごみ出しに向けた指導強化

地域コミュニティの希薄化により地域住民によるごみ集積所の適切な管理が困難な状況だ。適正排出指導などを行う清掃事務所のふれあい指導を一層強化せよ。

答弁 ふれあい指導のノウハウを活用できる体制を構築する。

親の一日保育士体験の実施

親と保育士との信頼関係を築き、親としての成長も支援する保育施策が必要だ。親に多くの気づきをもたらす、保育現場への理解も深める一日保育士体験を行え。

答弁 相互理解を深め保護者の子育て力向上に有効な方法と考える。

中塚 さちよ議員(民主)
基本計画での数値目標の設定

区の基本計画は、区民との協働なくして達成することはできない。新たな基本計画には、区民が計画の達成度や施策の成果を実感できるよう数値目標を盛り込め。

答弁 区民とともに施策を進めていけるような目標設定に努める。

要支援高齢者への支援体制の構築

区は要支援などの介護認定を受けた高齢者を介護サービスでなくボランティア等で支える国のモデル事業を区内4地区で行っている。全区体制への課題を示せ。

答弁 自助、互助、共助を一層促進する仕組みが必要と考える。

障害者の相談支援体制の充実

地域障害者相談支援センターは区内各地域に1カ所あるが、障害者は住所を管轄するセンターにしか相談できない。専門性が高い相談の際には柔軟に対応せよ。

答弁 各センターへの助言などを通して相談支援体制の充実を図る。

あべ 力也議員(減税)
保育士の処遇を改善せよ!

保育定員枠拡大に向け保育士確保は急務だが、賃金などの処遇面の課題から保育士不足が深刻化している。安定的な保育の質と量を確保するための処遇改善を図れ。

答弁 改善を図る民間保育所などを国や都の制度で支援予定である。

聴覚障害者への情報提供の工夫

避難所での情報提供方法は音声によるものが多く、聴覚障害者には役に立たない。区からの災害情報メールを表示させることが可能な電光掲示板機器を配備せよ。

答弁 情報格差を少しでも解消するため、情報伝達方法を研究する。

福祉センター水治療法室を残せ!

総合福祉センターの水治療法室での訓練はリラックス効果が高い。梅ヶ丘拠点整備に伴うセンター廃止の際は水治療法室を現状のまま残すか代替施設を確保せよ。

答弁 建物の跡利用などを含め公共施設整備方針も踏まえ検討する。

上川 あや議員(虹)
区の視覚障害者支援策に命の危険

区が視覚障害者の就労支援策として実施している鍼灸・マッサージ(三療)の事業で区が18ある施術会場まで移動支援を認めない対応は非常に危険だ。改めよ。

答弁 緊急介護人派遣事業などによる支援を改めて検討する。

目の不自由な三療施術者への支援

区がシルバー人材センターと結んだ施術者支援の契約では、紙幣の識別が困難な障害者の代金授受さえ支援しない、鍼を落とすても拾わないと散々だ。即改めよ。

答弁 今後、必要となる内容を仕様書へ記載することを考えている。

戸籍謄本等不正取得事件への対処

23年に発生した戸籍謄本等の大量不正取得事件では、区からも11件の流失が確認されているが、区内11区が被害者に告知する中、区は放置だ。区も告知するべきだ。

答弁 本件について、本人に告知するよう関係部署に指示する。



都市農地を守ろう! アグリフェスタ2013 (八幡山はらっぱ広場)





10月にオープンした三軒茶屋就労支援センター（世田谷産業プラザ2F）

新川 勝二議員（自民新）

桃野 よしふみ議員（み・行）

津上 仁志議員（公 明）

青空 こうじ議員（無所属）

杉田 光信議員（公 明）

いじめ防止法の成立を機に、学校みずからの力でいじめを発見し、対処する仕組みを確立すべきだ。教育委員会はリーダーシップを発揮し、学校とともに取り組み

体罰根絶に向けた取り組み

区が食品衛生法違反の疑いがある事業者に立入検査をした際、公益通報による検査であることが事業者者に推測される不適切な発言があったと聞く。区の認識を示せ

十分に活用されていないがやがや館の運動室で、利用者の少ない時間帯に、障害者やリハビリを行いたい方なども利用できる新たなプログラムを開設せよ

ドリムジャズバンド活動の充実

期日前投票の利便性向上

国の調査では体罰の件数は激増している。区は全教職員が高い理念と使命感を持ち職務に臨むよう意識を醸成し、保護者などと連携して体罰のない環境をつくれ

児童虐待の件数はふえ続けており対策強化が急務だ。妊娠期の支援から、虐待を受けた子どもの自立支援に至るまで、切れ目のない総合的な支援体制を構築せよ

都への相談に関する発言は適切ではなく、改めておわびする。公益通報制度に係る不適切な対応

区内中小企業の倒産防止に向けた支援を強化すべきだ。中小企業診断士や税理士などの専門家と連携し、経営改善手法をアドバイザーとするなどの支援を行え

ドリムジャズバンドを修了した生徒による「ドリムバンド」の活動を一層発展させるべきだ。年間を通じて継続的に活動できる体制づくりを区が支援せよ

鳥山駅前通りの駐輪対策の推進

保護者などと協力し、児童生徒が大切にされる環境を整える

区は業務上知り得た公益通報者に係る情報を事業者に暴露した上、その事実を議会へ報告しなかった。これは区民の信頼を著しく損なう不祥事だと思わないのか

総合的な支援に向け、産業振興公社に体制強化を働きかける

教育フォーラムの充実

支所中心の災害時協力協定の締結

児童虐待の件数はふえ続けており対策強化が急務だ。妊娠期の支援から、虐待を受けた子どもの自立支援に至るまで、切れ目のない総合的な支援体制を構築せよ

調査を行い、結果などを踏まえ基盤の充実を計画的に進める

各区立小中学校により取り組み方に偏りがある平和教育は、児童・生徒が平和について深く考察できるよう、具体的な指導方法を示し、指導内容を体系化せよ

教育フォーラムの充実

支所中心の災害時協力協定の締結

木下 泰之議員（緑の党）

京王線連立事業に係る情報開示

区長が都から重要部分非開示で受領の「京王線連立調査報告書」元年分が、非開示のまま廃棄と判明。自治権侵害だ。都に訴訟を提起すべき。区長の対応を伺う

21年の調査報告書の非開示部分について開示を求めていく

区民主権の意識が希薄な基本構想

新基本構想は区民の町会加入に区が努力としたが、お上と結びつく隣組の復活は止め、住区協議会など民主的新制度を構想すべき。町会加入条例の制定は止めよ

超高齢社会の今、介護状態にならない、状態が悪化しないための取り組みが重要だ。多くの区民が参加する魅力ある介護予防策の実施に向け、何を重視するのか

精神障がい者が地域で暮らすために精神疾患に対する正確な知識の啓発を行うとともに、地域福祉コーディネーターを配置するなど地域で支える体制を整備せよ

公共施設管理と資産の適正規模

多くの賛同が得られるよう、条例案提案に向け真摯に取り組む

子どもの放射能被害の防止

子どもの放射能被害の防止に力を注ぐべきだ。汚染状況重点調査地域である川場村への移動教室を中止するとともに、日光への修学旅行も行き先を変更せよ

インフラの維持管理に区民の力を生かす手法が注目されている。道路の破損箇所の写真と位置情報を携帯電話から提供してもらう区民の通報制度を導入せよ

精神障がい者が地域で暮らすために精神疾患に対する正確な知識の啓発を行うとともに、地域福祉コーディネーターを配置するなど地域で支える体制を整備せよ

新たな基本構想の認知度の向上

子どもが学校で重いアレルギー反応のアナフィラキシーを発症した際に、教職員が対応を判断するのは困難だ。緊急時に専門医の助言を受けられる体制をつくれ

子どもが学校で重いアレルギー反応のアナフィラキシーを発症した際に、教職員が対応を判断するのは困難だ。緊急時に専門医の助言を受けられる体制をつくれ

精神障がい者が地域で暮らすために精神疾患に対する正確な知識の啓発を行うとともに、地域福祉コーディネーターを配置するなど地域で支える体制を整備せよ

新たな基本構想の認知度の向上

まずは国や他自治体の状況を調査分析し、課題の整理を行う

精神障がい者が地域で暮らすために精神疾患に対する正確な知識の啓発を行うとともに、地域福祉コーディネーターを配置するなど地域で支える体制を整備せよ

精神障がい者が地域で暮らすために精神疾患に対する正確な知識の啓発を行うとともに、地域福祉コーディネーターを配置するなど地域で支える体制を整備せよ

新たな基本構想の認知度の向上

### 区議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。ぜひお越しになり、直接、会議の様子をごらんください。

傍聴席は、本会議場に69席、委員会室に6席（予算・決算特別委員会室は12席）用意してあります。車いすでの傍聴もできます。

本会議や委員会の開催日については、区議会ホームページでご確認いただくか、区議会事務局にお問い合わせください。なお、定例会の会期については、区のおしらせにも掲載しています。

#### ◇傍聴する場合

区議会事務局の傍聴受付で住所と氏名を記入し、傍聴券の交付を受けてください。

#### ◇傍聴のお問い合わせ先

区議会事務局庶務係  
TEL (5432) 2772  
FAX (5432) 3030





# 会派等の意見

平成24年度決算を審査するため、40名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、10月1日から10月15日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。ここでは、決算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された24年度決算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。



決算特別委員会での採決の様子

## 本会議での意見表明者

- 自由民主党世田谷区議団：下山 芳男議員
- 公明党世田谷区議団：福田 妙美議員
- 生活者ネットワーク：中村公太朗議員
- 社会民主党世田谷区議団：植田 靖子議員
- 日本共産党世田谷区議団：榎井 稔議員
- 世田谷民主党：中村公太朗議員
- みんなの党：田中 優子議員
- 世田谷革新110番：木下 泰之議員
- 緑の党グリーンズジャパン：小泉たまり議員
- 世田谷：新風21：あべ 力也議員
- 減税世田谷：上川 あや議員
- レインボー世田谷：ひうち優子議員
- 世田谷無所属：佐藤 美樹議員
- 未来あらた世田谷：すえおか雅之議員
- みんなの党：青空こうじ議員
- 無所属：青空こうじ議員

## 確固たる世田谷の将来像を描き 信念を持って区政を進展させよ

### 自由民主党世田谷区議団 (全ての会計に賛成する意見)

東日本大震災以降、区においてもさまざまな災害対策に取り組んできたが、先日の伊豆大島での台風被害を受け、我々は自然の猛威に対する認識の甘さを痛感した。災害に強いまちづくりに向け、区民の生命と財産を守るといふ言葉に改めて魂を入れ、区民と事業者、行政、議会が一体となり実効性ある施策を遂行しなければならぬ。24年度予算は我が会派が前区政から99%継承と評したものの、その執行責任は保坂区長にあり、決算では区長の区政に対する姿勢が問われる。区長就任以来、我々は一貫して8万自治体の長としての自覚と責任、覚悟を持って区政運営に当たれと述べてきたが、先送りや計画の微調整など、区長は今もって曖昧な区政運営に終始している。保坂区政に重要なことは過去のしがらみと決別し、現場の職員を信頼し、区政を進展させることだ。

今定例会において我々は新たな基本構想案に反対した。区長の目指す世田谷の将来像が見えず、現教育ビジョンに掲げる「教育こそ全ての原点である」との信念が示されていないからだ。しかし、新たな基本構想が可決された以上、今後の区政の実質的な骨格を形成する基本計画や実施計画などの策定に、区としてあるべき将来像をしっかりと見据え、行政の英知を尽くし、組織が一丸となって取り組まなければならない。我々も区議会第一党として責任を持ち、区民の思いにこたえるべく真摯に議論を重ねる所存だ。安倍首相が持続可能な社会保障制度の継続に向けて表明した消費

税率の引き上げは、区財政に大きな影響を及ぼす。まずはしっかりととした中期の財政見直しを立てることが重要だ。また、老朽化が進む区施設への対応や社会保障費の増大などにより今後財政支出の増加が見込まれるため、行政の役割を明確にし、民間活用推進などにより行財政改革を一層進めよ。

## 地域の課題を正確に把握し 安定した区政運営に取り組み

### 公明党世田谷区議団 (全ての会計に賛成する意見)

公共施設白書によれば、区の施設の老朽化などにより現在の施設を維持するだけでも今後30年間で経費が倍増する。将来へ負担を残すことのないよう老朽化対策に取り組め。特に老朽化が進む本庁舎整備は喫緊の課題だ。区長は我々からの再三の申し入れを受けて本庁舎整備の専管部署を設置したがその部署への指示は検討再開にとどまっている。職員のための庁舎ではなく区民の命を守る庁舎であることを肝に銘じ、直ちに本庁舎全面改築の意思を明示せよ。

都市整備方針の改定に当たっては、都市基盤整備は100年先を見据えて進めるべきものであることを認識し、世田谷という地域特性を十分に踏まえて取り組み。また、道路整備の遅れは、災害時の避難の妨げや火災の延焼などにつながり、区民の命に直結する問題だ。道路環境が脆弱な状況を踏まえ、道路整備を早急かつ着実に進めよ。地域行政には区民参加と協働の視点が不可欠だ。町会や自治会は行政運営の重要な役割を担っていることを認識し、加入促進を図る条例の制定にしっかりと取り組め。

今夏、我々は南三陸町を視察した。そこで自分たちのまちは自分たちでつくることの大原則や、それを支える施策や支援が重要であること、ふるさとを思う気持ちは日本人なら皆同じであることを実感した。ふるさとを思う気持ちは日本の強さだ。心から世田谷をふるさとと思う子どもが健やかに育つことは区にとって大きな財産であり、次代の世田谷を担う人材の

育成こそが教育の役割だ。「全ての原点は教育にあり」という信念を区政の隅々まで行き渡らせることが大切だ。明るい未来が展望できる基本計画と実施計画の策定に「信頼と責任」を持って取り組み。

## 以下、我々が重要課題と考える 施策について意見を述べよう。

### 第1に、財政運営の課題について

今後20年にわたる世田谷の望ましい将来像の実現に向け、新たな基本構想の体系化された9つのビジョンを重要な指標とし、安定した区政運営を着実に進めていかななくてはならない。決算状況については、いまだ厳しい財政状況からの脱却には至っていないものの、実質収支が前年比でプラスへ転じたことは評価する。しかし、特別区債残高が基金残高を上回っている現状を踏まえ、引き続き財政健全化への取り組みを強化せよ。

以下、我々が重要課題と考える施策について意見を述べよう。第1に、財政運営の課題についてである。新たな基本計画、実施計画の実現に向けた独自の財源確保は不可欠だ。一方、国は特別区交付金の財源である地方人課税のあり方の見直しを検討しており、区財政への影響も懸念される。区長はリーダーシップを発揮し、自治権の拡充に向けて明確な戦略を持って取り組み。

第2に、がん対策推進条例の制定についてである。がん撲滅に向け、がん対策を総合的かつ計画的に推進する方針の策定、がんに係る情報提供体制の強化、がん患者への支援体制の構築などが必要だ。その実現に向け、条例制定と保健センターにおける医療コンシェルジュ機能の確立に取り組み。第3に、新たな自治体間連携に

## 人権施策を充実し 多様性を認め合う社会を実現せよ

### 生活者ネットワーク・ 社会民主党世田谷区議団 (全ての会計に賛成する意見)

ついてである。都市部では施設が足りず介護サービスが供給不足が深刻化する一方、地方では地域活力の低下による産業の衰退などが生じている。自治体単独では難しい問題の解決に向け、行政機能を補完する仕組みを構築し、区外への高齢者施設の整備などの新たな自治体間連携の可能性を探れ。第4に、子育て支援についてである。保育二歳がふえ続ける中、多様な保育サービスの提供や行政運営の効率化などは重要な課題だ。株式会社などの保育所運営への参入を視野に地域住民への配慮も念頭に置き、保育施設整備目標の達成に向けて着実に取り組み。また、在宅子育て支援の拡充に向け、遊びや預かりの機能に限定した小規模型子育てステーションを利便性の高い駅前へ早急に整備せよ。

第5に、若者支援への取り組みについてである。思春期世代の心の健康づくりなどを含めた総合的な若者施策は重要であり、区では児童館が子どもの成長に大きな役割を果たしている。思春期世代への二歳調査を行い実態を把握し、児童館が中高生の活動の場として一層機能するよう検討に着手せよ。最後に、公共施設マネジメントについてである。将来の人口減少に伴う施設需要の減少や施設の老朽化などを踏まえ、中長期的な視点から維持管理コストについての把握や分析を行う必要がある。新公会計制度とそれに伴う財務会計システムを導入し、財政の透明化や行財政改革を一層進めよ。

厳しい経済状況の中、雇用の保障と賃金の引き上げがないまま消費税が上がれば、区民の暮らしは厳しさを増す。就労支援の強化と区内経済循環の活性化に力を注げ。新たな基本計画と実施計画に人権尊重社会の実現や住民自治の確立、地域活性化によるコミュニティ再生への取り組みを盛り込め。人権部署の設置、女性などの視点を踏まえた地域防災計画の改定、自然エネルギーの普及促進などを



バンバリー市小学生親善訪問団の議会表敬訪問



# 24年度決算に対する



決算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。

世田谷区議会 議会中継 で検索！

区長は自身の公約に責任を持ち  
熊本前区政からの転換を図れ

― 日本共産党世田谷区議団 ―  
（一般会計と国保会計と後期高齢者会計と介護会計には反対、給食会計には賛成する意見）

24年度予算は保坂区長による最初の本格予算だったが、内容は熊本前区政を継続するものであった。認可保育園増設などに取り組む一方、我々が反対した国保料などの大幅値上げを行うとともに、再三求めた多様な低所得者対策は実施に至っていない。また、区長は熊本前区長がつくった行政経営改革計画を進め、区民に負担を押しつけながら大型公共事業は計画どおりに進めるなど、区民生活を省みない区政運営を行っている。このため一般会計決算などに反対する。

区長は大型開発からの転換などの自身の公約に責任を持って区政運営を行い、新たな基本計画などで熊本前区政からの転換を図れ。以下、区政課題に対し要望する。

町会や自治会への加入促進などを目的とする条例案は議論の場を確保してつくり直せ。労働報酬下限額を盛り込んだ実効性ある公契約条例を制定せよ。区は責任を持って特養ホームの整備計画と環境リノベ事業を推進せよ。NPT再検討会議の成功に向け、区として取り組みを具体化せよ。せだがや平和資料館の設置に際しては、広く住民の意見を取り入れよ。

区政課題の解決に向けてスピード感を持って施策を講じよ

― 世田谷民民主党 ―  
（全ての会計に賛成する意見）

決算審査を通じ、区政の課題に対する区の危機感の欠如と対応の遅さが改めて浮き彫りとなった。これを受け以下指摘する。

区職員の天下り先であり、多くの問題を抱える外郭団体の抜本的な改善に早急に取り組め。

介護保険制度の大幅な変更により要支援者が制度の対象外となっても、従来と同水準のサービスを提供できる体制を整備せよ。

これまで我々が提案してきたが、入使用料削減に向けた区施設での契約形態の変更について、全施設で行うかの結論を早急にだせ。

未来の世田谷を担う人材の育成は最優先課題だ。再三求めてきた小学生の海外派遣定員枠の拡大に直ちに取組め。

多くの市民活動団体がある中で、区が示した町会や自治会を特別扱いする内容の加入促進条例の素案に反対する。

一部の声だけにしか耳を傾けない  
区民置き去りの区政運営はやめよ

― みんなの党・世田谷行革10番 ―  
（一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見）

「区民置き去り区政」の象徴として世田谷ナンバーの強制があり、保坂区長が率先して導入を進めたことを問題視し、一般会計決算に反対する。区長の政治姿勢は次の区長選をあまりにも意識し、消費者である区民をないがしろにし、商工団体ばかり向いている。住宅都市世田谷を観光地化するなどという商工団体の間違った政策の延長線上にあるのが世田谷ナンバーの強制である。区民の日常生活の「こだわり」に介入し反対の声を切り捨てたのは、今後の区政運営を考える上で大問題だ。選挙のための政策の私物化が始まっている。商店街振興を図るなら消費の鍵を握る女性目線で区は考える。プレミアム商品券に頼らず、地元のリピート客を増やす政策が商店街のみならず区発展の基本中の基本。保坂区長の政治資金パーティーに区職員を巻き込むことは厳に慎め。

節操なき二股営業なら区長を辞せ  
緑の党グリーンズジャパン世田谷

― 緑の党グリーンズジャパン世田谷 ―  
（一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見）

区長は公約に反し開発見直しもせず、放射線量が高い川場村への移動教室も止めない。区長の政治資金パーティー案内状は、前区長や町会業界団体の長が呼びかけたもの、これを隠した市民向けの2種を使い分けた。憲法違反の町会加入条例は止めよ。節操の問題だ。

真に自立した地域、地区を目指せ

― 新風21 ―  
（全ての会計に賛成する意見）

歩いて暮らせるまちの実現に向け、児童館などの支所への移管や避難所配置の見直し、窓口でのたらい回しゼロ化、行政や学校の区域割りの見直しを行え。区の側面的支援で町会自治会を活性化せよ。防災面から集合住宅での自治会設置を促せ。役割分担行政を改めよ。

役人の隠蔽体質と前例主義を正せ

― 減税世田谷 ―  
（全ての会計に賛成する意見）

区長は情報公開と住民参加を標榜するならば、まず自らインターネットでの庁議の公開による政策決定過程の見え方や行政情報の区民との共有に取り組み、役人の隠蔽体質や前例主義を改めよ。さらなる予算査定厳格化により100億円を超える不用額を削減せよ。

透明性の向上と多様性への配慮を

― レインボー世田谷 ―  
（全ての会計に賛成する意見）

庁議の公開や公文書管理手法の改革などが遅々として進まない。透明性高い区政への改革を急げ。高齢者や障害者も参加しやすいスポーツイベントの開催、性的マイノリティーへの教育上の支援など多様性に配慮を。厳しい財政状況の今こそ豊かな発想で区政運営を。

区民サービスの向上に取り組め

― 世田谷無所属 ―  
（全ての会計に賛成する意見）

集中豪雨に対応するため、下水道管の合流式・分流通地域の浸水対策を強化せよ。事業者の責務を規定した都の自転車条例を周知せよ。区施設へのWiFi設置を進めよ。幼稚園での預かり保育の拡充に取り組め。駅周辺への病児・病後児保育施設の整備を進めよ。

区民、事業者との協働での解決を

― 未来あらた世田谷 ―  
（全ての会計に賛成する意見）

新たな公共施設整備方針の策定にあたり必要な総量抑制の議論では、まず区民と危機感を共有せよ。提案型の認可保育園整備や小規模保育事業など新しい整備手法の組合せと実現性のある募集制度を。町会や自治会に加入していない区民の地域防災への意識を高めよ。

協働の本質を理解して実践せよ

― みんなの党 ―  
（全ての会計に賛成する意見）

基本構想に協働の本質的な理解が足りないことを見ても24年度予算が区長の言うパラダイムシフトの実践だったか疑問だが、財政状況改善の取り組み、災害対策総点検に基づく取り組み、福祉文化都市を目指す取り組みは評価する。着実な予算執行と判断し賛成する。

身近な課題の解決に一層力を注げ

― 無所属 ―  
（全ての会計に賛成する意見）

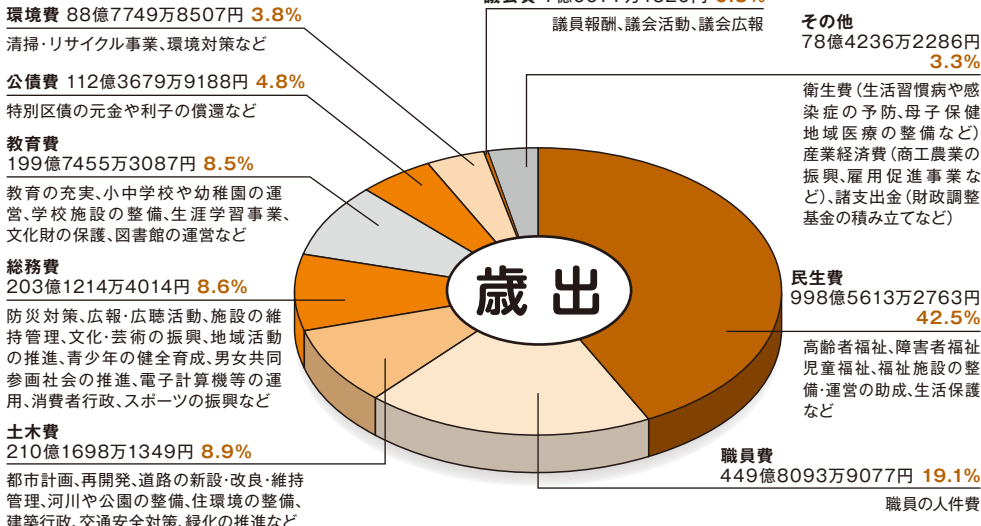
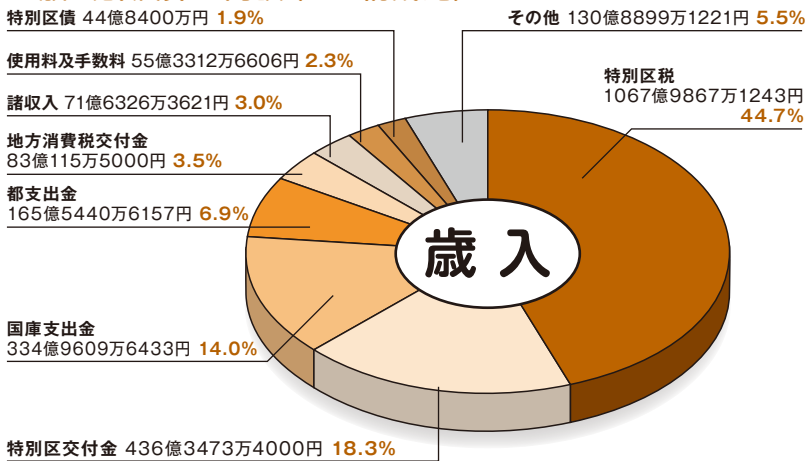
区民に最も身近な自治体として、区民の目に届く行政サービスを展開すべきだ。選挙の投票用紙を記号式に変え、高齢者や障害者も記入しやすくするなど、身近なところの改善にこそ力を注げ。区長は議員の声をよく聞き、変えるべきところは変える姿勢をもっと示せ。

## 平成24年度各会計決算額

	歳入決算額	対前年度比伸び率	歳出決算額	対前年度比伸び率	歳入歳出差引額
一般会計	2390億5444万4281円	-0.3%	2348億9718万1591円	-1.0%	41億5726万2690円
特別会計					
国民健康保険事業会計	796億5235万3586円	2.1%	782億2900万3654円	2.6%	14億2334万9932円
後期高齢者医療会計	179億6246万5009円	13.2%	172億1169万175円	13.0%	7億5077万4834円
介護保険事業会計	508億1761万2083円	9.1%	503億3809万5314円	8.4%	4億7951万6769円
中学校給食費会計	1億5216万777円	-12.3%	1億4729万793円	-12.6%	486万9984円
計	3876億3903万5736円	1.9%	3808億2326万1527円	1.4%	68億1577万4209円

## 平成24年度 決算のあらまし

### 一般会計決算の内訳(％=構成比)



※構成比(%)は小数点第2位以下を四捨五入しています。



# 第4回定例会は11月下旬から12月上旬まで開催する予定です

1ページからの続き

## 指定管理者の指定

2件

〇区民会館 (全員賛成)	施設名称	指定管理者
	砧区民会館	アクティオ株式会社

〇千歳温水プール  
(全員賛成)

施設名称	指定管理者
千歳温水プール	公益財団法人 世田谷区スポーツ振興財団

## 議員提出議案

1件

〇軽度外傷性脳損傷者に関わる労災認定基準改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書  
(全員賛成)

## 決算特別委員会の設置と委員の選任

(全員賛成)

平成24年度決算を審査するため、決算特別委員会を設置し、40名の議員を委員として選任。

## 常任委員会の委員の所属変更

(全員賛成)

上山なおのり議員(自民)の所属委員会を福祉保健常任委員会から区民生活常任委員会に、小泉たまた子議員(新風)の所属委員会を区民生活常任委員会から福祉保健常任委員会に変更。

# 請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。審議が終わったもの

## 不採択としたもの

2件

〇外郭環状道路立坑工事開始前に土壌汚染調査を行うよう区として事業者を指導することを求める陳情  
賛成多数 賛成者 藤田 公明 民生 みる 新風 緑 賛成多数 虹 苗 谷 あ た り び 野 田 龍 二 郎 藤 田 龍 二 郎

〇東京外かく環状道路(東名ジャンクション)立坑掘削用地全域の土壌汚染調査を緊急に実施するよう、国等に要請することを求める陳情  
賛成多数 賛成者 藤田 龍 二 郎 藤 田 龍 二 郎 藤 田 龍 二 郎 藤 田 龍 二 郎

〇賛否は、不採択とすることに對するもの。

## 取り下げを承認したもの

1件

〇「第25回 国連軍縮会議 in 世田谷」開催についての陳情  
(全員賛成)

## 新しく出されたもの

## 企画総務常任委員会に付託

2件

〇固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出に関する請願

# 意見書

区議会は、次の意見書を関係機関あてに提出しました。

## 軽度外傷性脳損傷者に関わる労災認定基準改正と教育機関への啓発・周知を求める意見書

「軽度外傷性脳損傷(略称MTB)」は、交通事故や高所からの転落・転倒、スポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受け、脳内の情報伝達を担う神経線維「軸索」が断裂するなどして発症する病気です。

2007年、世界保健機関(WHO)の報告によれば、年間1000万人の患者が発生していると推測されており、その対策が求められています。WHOの報告から累計患者数を推計すると、日本には過去20年間で数十万人の患者がいると考えられています。しかし、この病気は、MRIなどの画像検査では異常が見つかりにくいいため、労災や自賠責の補償対象にならないケースが多く、働けない場合には、経済的困窮状態に追い込まれるケースも多々あるのが現状です。

特に、通学路での交通事故やスポーツ外傷が多発している昨今、子どもたちがMTBを発症する可能性も高くなっています。

この結果、区議会の会派等の構成は次のとおりになりました。

よって、世田谷区議会は政府に對し、これらの現状を踏まえ、次の事項について、適切な措置を講じられるよう強く求めるものです。

- 軽度外傷性脳損傷のために働けない場合、労災の障害(補償)年金が支給できるように、労災認定基準を改正すること。
- 労災認定基準の改正にあたっては、不正を防止するため、画像に代わる外傷性脳損傷の判定方法として、他覚的・体系的な神経学的検査方法を導入すること。
- 教育機関への啓発・周知を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成25年10月18日  
衆・参議院議長、内閣総理・文部科学・厚生労働大臣 あて

会派等の構成と名称の変更  
「緑の党 Greens Japan 世田谷」は、8月4日付で会派名を「緑の党グリーンズジャパン世田谷」に変更しました。また、「自由民主党世田谷区議団・新風」は9月24日付で会派名を「自由民主党世田谷区議団」に変更し、同日付で、小泉たまた子議員が、新たに「新風21」を結成しました。

委員の辞任と選任  
〇議会運営委員会  
8月1日付で、上山なおのり委員(自民新)の辞任に伴い、島山晋一議員(自民新)を選任しました。また、9月25日付で石川征男委員(自民)が辞任しました。

## 議会日誌

閉会中に開催された委員会	
6月13日(木)	災害
26日(水)	企画、区民、文教
27日(木)	福祉、都市
28日(金)	議運
7月1日(月)	企画(視察)、福祉(視察)、都市(視察)
3日(水)	
3日(水)	文教(視察)
5日(金)	
18日(木)	福祉
23日(火)	区民(視察)
25日(木)	
29日(月)	企画、区民、文教
30日(火)	福祉、都市、分権、交通
8月23日(金)	議運
9月3日(火)	企画、区民、福祉、都市、文教
4日(水)	企画、区民、福祉、都市
5日(木)	福祉、分権、災害、環境、交通
6日(金)	議運
会期中の主な会議日程	
9月17日(火)	本会議(代表質問)、議運
18日(水)	本会議(代表質問、一般質問)、議運
19日(木)	本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託など)、決算
20日(金)	企画、区民、文教
24日(火)	福祉、都市
25日(水)	議運、分権、災害、環境、交通
27日(金)	本会議(議案の議決など)、区民、議運
10月1日(火)	決算(総括質疑)
2日(水)	決算(企画総務委員会所管質疑)
4日(金)	決算(区民生活委員会所管質疑)
7日(月)	決算(福祉保健委員会所管質疑)
9日(水)	決算(都市整備委員会所管質疑)
10日(木)	決算(文教委員会所管質疑)
15日(火)	決算(補充質疑)
18日(金)	本会議(議案の議決、請願の付託など)、議運

## 委員会名称

企画	= 企画総務常任委員会
区民	= 区民生活常任委員会
福祉	= 福祉保健常任委員会
都市	= 都市整備常任委員会
文教	= 文教常任委員会
議運	= 議会運営委員会
分権	= 地方分権・地域行政制度対策等特別委員会
災害	= 災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
環境	= 環境・エネルギー問題対策特別委員会
交通	= 公共交通機関対策等特別委員会
決算	= 決算特別委員会

自由民主党世田谷区議団	13人
公明党世田谷区議団	10人
生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団	5人
日本共産党世田谷区議団	4人
世田谷民主党	3人
みんなの党・世田谷行革11番	3人
緑の党グリーンズジャパン世田谷	1人
新風21	1人
減税世田谷	1人
レインボー世田谷	1人
世田谷無所属	1人
未来あらた世田谷	1人
みんなの党	1人
無所属	1人
合 計	46人

(欠員4人)

## 編集後記

〇今定例会では、30名の議員が、新たな基本構想に盛り込むべき内容や区施設の老朽化対策など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。

〇区議会だよりのテーパー版とデイズ(CD-ROM)版を発行しています。視覚障害のある方などで希望される方には定期的にお送りいたしますので、ご希望の際は区議会事務局調査係までご連絡ください。また、区立図書館では過去1年以内に発行された区議会だよりのテーパー版とデイズ(CD-ROM)版を貸し出していますので、ぜひご利用ください。

〇お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL (54332) 2779  
TEL (54332) 30300  
FAX (54332) 30300

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録(本会議の分は11月下旬、決算特別委員会の分は12月下旬の発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。